



「ひろば第11号」の内容です。
講座等募集：「川西歩こう会」、「川西親子ふれあい広場」
掲載している講座等は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止となる
ことがあります。



『川西歩こう会』の活動予定

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から感染予防を十分に行ったうえで活動を再開しています。今回は98回目の「シリーズ川西を歩こう! 【浦野地区探訪】編」についてお知らせします。冬の雪道を歩きます。ご自身の体調をみて暖かい服装でご参加ください。

持ち物：マスク、参加費200円(保険料込)

昼食、飲料水、雨具、おやつ、保険証など

服装：歩きやすい服装、雪道用運動靴、帽子
防寒着など

対象：小学生以上

(小学生には、大人の責任者の要同伴)

その他：申込不要、悪天候中止(当日の照会は、午
前8時30分以降に川西公民館までご
絡ください。)

回	内容
98	「シリーズ川西を歩こう! 【浦野地区探訪】編」 ◇日時 3月16日(火) 9:00~14:00 ◇集合 川西社会体育館玄関前 8:50 集合 ◇コース 川西社会体育館~岡公民館(WC)~東の宮~皇 大神宮・見晴台~東昌寺~南団地公園~田中邸(外観) ~浦野川右岸~川西社会体育館(解散)

※参加にあたってのお願い

- ・感染症感染防止のため、マスク着用の上、参加者間の距離を一定に保って活動をお願いします。
- ・参加の前2週間以内に往来そのものを慎重に検討すべき都道府県への往来及び陽性者と濃厚接触があった場合などは参加の自粛をお願いしています。
- ・重症化しやすい方、風邪等の症状がある方は参加できません。
- ・当日、自宅での検温、集合場所での健康チェックの実施にご協力ください。
- ・当日、参加者の氏名、住所、電話番号の入った名簿を作成し1カ月間保存させていただきます。

『川西歩こう会』エピソード大募集

平成24年から活動を始めた川西歩こう会も100回目を迎えようとしています。そこで、参加された皆様からの思い出等、エピソードをお寄せいただき記念冊子を作成します。

専用の用紙と提出箱を公民館事務室カウンターに設置していますのでご提出ください。(用紙は、任意の様式でもかまいません。)冊子には、匿名で掲載します。文書、短歌、俳句などの形式は問いません。どうか多くの皆さんのエピソードをお待ちしています。



川西親子ふれあい広場 ☆3月の予定☆

お子さんとおうちの方の元気な毎日を応援します!

◇ 3月 8日(月) 「大きくなったね」

~ 身体測定 ~

今年度さいごの広場です。お子さんの成長を感じながら楽しい時間を過ごしたいと思っています。

- ◇ 対象 未就園児の子を持つ親子
- ◇ 場所 川西公民館(大ホール)
- ◇ 持ち物 出席カード、上はき、飲み物、バスタオル(身体測定用)
- ◇ 参加費 各回100円
- ◇ 当日受付時間 受付は午前10時15分から

☆☆ 申込みについて ☆☆

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を36人までとし完全予約制で行います。事前に電話でお申込みをお願いします。3月8日開催分の申込みは、3月1日(月)の午前8時30分から電話で受付を行います。

WITH コロナの時代 に人権を守る

新型コロナウイルス感染症が広がり始めて1年が過ぎました。感染防止の為に「ワクチン接種」が医療従事者、高齢者と順次行われるという報道があり、その準備も進められています。

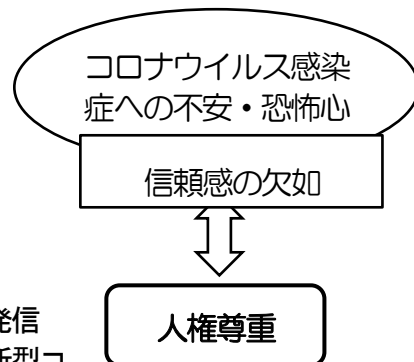
この間、医療従事者や長距離運転手とその家族、東京等首都圏居住者などへの偏見が生まれ、そういった人々を排除してしまおうとする動き（＝差別）や「自粛警察」の名のもとでツイッターやインスタグラムなどを通して自分の思いを激しい非難の言葉で発信し、攻撃するということが起こりました。（感染しているわけではないのに…、感染する可能性のある環境にいるというだけで…。）また、感染した人たちはネット上で誹謗中傷されたり、石やゴミなどが家に投げつけられたり落書きをされたりという人権侵害を受けました。

新型コロナウイルスの感染力の強さ、感染者の重症化・「死」という報道が人々の恐怖心を煽り、「感染したら大変なことになる」という不安からこのようなことが起きてしまったと考えられます。

更に感染経路が判らない、無症状でも陽性になることから「いつ、だれが、どこで感染するかわからない」という不安も加わって、人権尊重の土台となる「信頼感」が揺らいでいる状況もあるのではないかと心配されます。

しかし、人を責めても感染症がなくなるわけではありませんよね。

今、国・県・市などから「コロナによる差別について」のメッセージが発信されると共に、感染してしまった人々へ応援のメッセージを送ったり、新型コロナウイルスをめぐる誹謗中傷や偏見をなくそうと「シトラスリボン運動」に取り組んだりする人々やコロナについて正しい理解をしようと取り組んでいる学校や職場が増えてきています。



そんな今だからこそ

自分を見つめなおし …… 今の状況を整理したり、いろいろな角度から観察したり

いつもの自分を取りもどし …… 悪い情報にばかり目を向けず、なんでも感染症と結びつけず

必要なことを見極めて自ら選択し …… 情報を正しく判断し、今だからこそできることに取り組み

『みんなで支え合う社会』をつくりあげていきましょう。

『みんなで支え合う社会』とは

- どんなことも相談できる、受け入れてもらえる、支えてもらえる社会
- みんな（特に困っている人）のことが考えられる社会
- 情報を吟味して正しい情報を伝え合う（安心できる情報）社会



～ シトラスリボン運動とは ～

松山大学の研究者らのグループが感染から回復した人や医療従事者などが地域で受け入れやすい雰囲気づくりをしよう（『ただいま』『お帰りの』を言い合える地域）と提唱している運動です。

地域や家庭、職場または学校の場所を表す3つの輪を形どったシトラスカラー（黄緑色）のリボンを軒先、店先、携帯するものにつけてもらう活動で意識を高めていこうと取り組んでいます。

